■講座内容

講座修了後の活動において、竹林の『伐採』・どんぐり等『植樹』、フィールド（町有地等）の『有効利用（森林公園の緑化事業）』を三つの柱とした環境保全・緑化推進の事業展開を期待し、「竹林」を主たるテーマとした中で、森林等整備の必要性を初め、活動時の危機管理から刃物の管理に至るまで、竹林整備に必要な専門的かつ技術的な知識を講義及び実習を通して習得できるものとした。

■1日目

日　時：平成21年1月17日（土）13:00～17:00
場　所：中央公民館第3会議室
講義名：自然体験活動における安全管理と応急手当
講師名：福岡医療短期大学　非常勤講師　竹下　裕一

内　容：森林の保全等の活動には危険が伴う。そこで、講義では事故を起こさないための事前の危険回避の手法、一般参加者への予見危険性の周知や、事故が生じたときの事故対応体制を学び、実習においては、AED及び蘇生人形等による救急処置の手法を学んだ。

■2日目

日　時：平成21年1月18日（日）10:00～12:00
場　所：駅前情報プラザ「人の駅」研修室2
講義名：福岡県の植物と現状
講師名：福岡県環境アドバイザー　熊谷　信孝

内　容：福岡県レッドデータブック2001を参考に、福岡県の植物群落及び希少野生生物の紹介がされた。これら希少な動植物が近年絶滅や減少傾向にある要因について学んだ。また、英彦山のブナ林再生、エドヒガンの保全など自身のボランティア活動についての紹介が行われた。

日　時：平成21年1月18日（日）13:00～14:55
場　所：駅前情報プラザ「人の駅」研修室2
講義名：竹林保全活動
講師名：北九州市立大学国際環境工学部
　　准教授　デワンカー・バート

内　容：講師自身が組織したNPO北九州ビオトープ・ネットワーク研究会の取り組んでいる竹林保全活動について紹介された。この活動は、舟尾山の麓に広がる北九州市立大学ひびきのキャンパス（学術研究都市）の周辺地域の竹林を中心に整備が図られている。また、その名の通り、都市において植物・動物が共生できる生物空間の創出・復元のための水と緑の回廊づくりの重要性が説明された。

日　時：平成21年1月18日（日）15:00～17:00
場　所：駅間情報プラザ「人の駅」研修室2
講義名：里山再生とキッズパークの試み
講師名：龍田共育ネットワーク　新道　欣也

内　容：学校教育のみで不可欠な子ども達の健全育成を、地域・学校・PTAなど地域社会全体で創出し提供している。この団体の活動を通して、子ども、大人更には地域全体で共に学ぶことができ、そこに住む全ての世代の人々の交流を育み、地域の活性化が促進され、さらには“地域力”が高まることが期待している。これら団体の設立から運営までの過程等についての説明が行われた。

■3日目
日　時：平成21年1月24日（土）10:00～17:00
場　所：九州大学農学部附属演習林
講義名：環境問題と植物／フィールド観察実習
講師名：九州大学大学院農学研究院　准教授　薛　孝夫
内　容：森林の働き（水源涵養・CO2吸収・水の浄化・土砂災害防止・木材の生産・生物多様性）や植物の光合成作用とその重要性、樹木の成長過程におけるCO2固定（吸収）の相違等の講義や演習林内での散策によるフィールド観察実習が行われた。

■4日目（降雪のため中止、3月7日に振替）
日　時：平成21年1月25日（日）

■5日目
日　時：平成21年2月8日（日）10:00～12:00
場　所：山田緑地セミナー室
講座名：竹林被害について
講師名：環境省登録ｽｸｰﾙｲﾝﾀｰﾌﾟﾘﾀｰ 小島　俊哉
内　容：竹林の性質、拡大防止策、放置竹林が森林に与える影響、竹の種別当てクイズなど。また、福岡グリーンヘルパーでの竹林整備活動状況や九州大学伊都キャンパス内移転地ついての説明がされた。

日　時：平成21年2月8日（日）13:00～16:00
場　所：小倉南区合間
講義名：竹林管理と実践演習
講師名：北九州グリーンヘルパーの会代表　溝口　次男
内　容：北九州グリーンヘルパーの活動の拠点において、当該団体の指導のもと、安全管理（刃物等）に配慮しつつ竹林の伐採を行った。各班10弱程度の伐採を行い、竹林伐採の危険性等を認識すると同時にその楽しさ、辛さも知ることのできる実習である。

■6日目
日　時：平成21年2月14日（土）10:15～12:00
場　所：中央公民館大会議室／町内
講義名：岡垣町の森林観察
講師名：農林水産課振興係長　秋武　重成
内　容：岡垣町の森林面積や緑の現状、森林に関連する町の計画などの概要説明と町内の里山オーナー、侵入竹、未利用地の現地観察を行い、受講生が居住する町の現状を認識した。

日　時：平成21年2月14日（土）13:00～14:55
場　所：中央公民館大会議室、調理室
講義名：刃物の管理と取り扱い
講師名：古賀市緑のまちづくりの会　宿理　英彦
内　容：森林等整備を図る際に、鎌・鉈などの道具を用いる。保全活動を安全に実施するために不可欠かつ最も重要な刃物の管理方法とその取り扱いについて講義が行われ、研修生が自ら愛用している道具（鎌）を研磨、収納に役立つ刃掛け作成などの実習を行った。

■補講

日　時：平成21年3月7日（土）10:00～12:00
場　所：古賀市グリーンパーク
講義名：植樹祭参加
講師名：環境保全リーダー養成講座統括指導者　小島俊哉

内　容：古賀市10万本ふるさとの森づくり実行委員会主催の第8回植樹祭に参加した。なお、協賛として九州電力、後援として古賀市、また古賀市緑のまちづくりの会、福岡グリーンヘルパーの会が協力を行っている。

日　時：平成21年3月7日（土）13:00～17:00
場　所：九州大学伊都キャンパス
講義名：身近な植物の扱い方／伊都ｷｬﾝﾊﾟｽ内見学
講師名：あとりえ樹友舎　内山武文

内　容：福岡グリーンヘルパーの活動内容の紹介や活動の場、育苗ハウスの見学を行った。活動は安全第一に楽しく学ぶことが重要であり、また、高いボランティア意識を持つことより、自己の楽しみのために活動する方が長続きすることも語られた。また、育苗はその地域で取れた種から約3年を経て森に植林を行うが、ハウスの建設過程から樹木の育て方までの幅広い説明が行われた。